

# 紀伊半島における交通・観光のデジタル化事業概要

## 【事業目的・経緯】

ウイズコロナ時代及びキャッシュレス化に対応するため、デジタル化による観光周遊の円滑化・消費の拡大を図る。

### <事業主体>

紀伊半島外国人観光客受入推進協議会 観光MaaS推進部会 （事務局：県観光交流課）

### <令和2年度>

- 高野山内を周遊する各種チケットのデジタル化事業を、1月～3月に試行的に実施

### <令和3年度>

- 南海電鉄と連携し、高野山へのアクセスや高野山・山麓地域における観光周遊のデジタル化実証実験を実施
- 交通・観光施設のチケットや、地域の飲食店等で利用できるクーポン等をデジタル化し、スマートフォン一つで予約・決済・発行・利用を可能にするWebシステムを構築（10月～11月）

## 【部会構成員】

部会内にエリア毎の分科会を設置（高野山エリア・熊野エリア）

### 【交通事業者】

- (鉄道) ・南海電鉄
- ・JR西日本
- (バス) ・南海りんかんバス
- ・龍神自動車
- ・熊野御坊南海バス
- ・明光バス
- ・奈良交通

### 【自治体】

- ・和歌山県
- ・橋本市
- ・田辺市
- ・新宮市
- ・かつらぎ町
- ・九度山町
- ・高野町

※赤字:令和4年度追加

## 【R4年度の実施内容】

- 実施期間：令和4年9月27日～11月30日
- 昨年度システムに機能を追加し、利便性を高めて高野山エリアで事業を実施、同システムを利用して、熊野エリアにも拡大
- Web・SNS広告等によるプロモーションを展開

## <対象エリア>

左記自治体が対象エリアとなる（※一部他町含む）

